

らじるプラス

# やること全部 スマホの中に

忙しい年度末の時期になった。月が変われば新生活を始めるという人も多いだろう。新しいことに取り組んだり、慣れない仕事をしなくてはいけなかったりすることも重なる季節。つい忘れていた、ということにならないよう、やるべき仕事のチェックにスマートフォン(スマホ)のタスク管理アプリ(応用ソフト)を使ってみてはいかがだろうか。仕事だけでなく、引っ越し準備や宴会幹事にも役立つそうだ。

## ■ 話すだけで登録

「朝の決まった時間に今日は何をやるのか確認してくれるので、予定も立てやすい」。ベンチャー企業社長の佐々木大輔さん(33)はタスク管理アプリ「Any.DO」を愛用している。まずはスマホを手にし、その日すべき仕事を考え、声に出す。スマホに向かって「田中さんに電話する」「契約書を確認する」と話せば、アプリが文字に変換して登録してくれる。会社までの道すがら用事を思い出せば、その場でスマホを取り出してすぐに登録できる。

登録した「やること(タスク)」は「いつまでにやるか」で分類する。アプリの表示に従って、今日やるのか、後でいいのかを登録。今日やる場合は何時までに終わらせるかも登録する。指定した時間になるとアラームが鳴り、終わっているかどうかを確認してくれる。

その日終わらせるべきタスクが夜になっても未了なら、決まった時間に残っている仕事があることを通知してくれる。その際に「後でやる」と登録すると翌日の朝には「今日やるのか」

## タスク管理アプリ活用



スマホで手軽にタスク管理ができるアプリ「Any.DO」

## 新生活 うっかり忘れ防止

### 主なタスク管理アプリ

アプリ名(企業・個人名)	内容と特徴
Any.DO(Any.DO)	音声で簡単にタスクの入力ができる。不在着信をタスクに加えるなど、機能が豊富。無料。(i,A)
2Do(Guided Ways Technologies)	タスクをグループに分けて管理するのが簡単。パスワードをかけたり、画像やURLと一緒に保存できる。1000円など。(i,A)
Clear(Realmac Software)	シンプルな使い勝手が売り。タスクリストを作って管理するだけでいい人にお薦め。500円。(i)
gTasks HD(Yaniv Katan)	通知をしてほしい場所を設定できる。グループのタスクリストのアプリと同期できる。無料。(i)
コレアラニーヤ(Adventure Planning Service)	締め切り時間に向けて猫が左端から右端に移動。締め切りを過ぎたら猫がいなくなるが、達成できるとクジが引ける。無料。(i)

iはiPhone用、AはAndroid用

とアプリが聞いてくる。

ほかに、不在着信があると「〇〇さんに電話」と、タスク一覧に自動的にかけ直しを追加する機能もある。プロジェクトごとに分類してタスクを登録すれば、それぞれのプロジェクトで何をやり残しているかが一目で分かる。

登録したタスク一覧はパソコンなど複数のデバイスで見ることができる。佐々木さんは「うっかり忘れていたということもないし、用件の登録も簡単で便利」と満足そうだ。

「うっかり」を予防する通知方法も様々だ。「gTasks HD」

は通知してほしい場所を登録できるアプリ。スマホの全地球測位システム(GPS)を利用して、登録した場所に行ったタイミングでタスク通知が出る。例えば、商店街の前で買い物メモを通知したり、会社から出る時に郵便をポストに出すと知らせたりと、自らスマホでタスク一覧を確認しなくても安心だ。

毎週決まった日程を繰り返して知らせてくれる機能もある。米グーグルのタスクアプリや、同社の無料メールサービス「Gmail(ジメール)」の「ToDoリスト」とも連携する。Gmailに登録してあるタスクを読み込

み、アプリに登録することができ

## ■ 歓送迎会の幹事に

送別会や歓迎会でもタスク管理アプリは役に立つ。「Clear」はアラート機能はついていないが、その分、簡単な操作性が人気のアプリだ。タスク管理だけでなく、参加者の確認や集金に

使える。まずパソコンで参加者リストを作り、自分のスマホにメールで送る。するとスマホを振るだけでアプリにリストを登録できる。ボタン操作を極力省いた手軽さが特長だ。

楽しい宴会も無事に終わり、最後は精算。今度はアプリで参加者リストを表示して、お金を受け取った人の名前を右にスライドするだけで、お金を預かったその場ですぐに登録できる。後日の精算になって、受け取ったかどうか忘れてしまうことがない。アプリの価格は500円。

朝までは覚えていたはずなのに、やるが多すぎてやり忘れてしまった、といった経験は誰にでもあるだろう。年度末の忙しい季節。スマホのアプリに頼るのもいいのではないだろうか。賢く使いこなして、新年度を「抜け」「漏れ」無く、効率的にスタートしてはどうか。

(企業報道部 小河愛実)

タスク管理